

I T活用音楽科学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 中学校
2. 対象生徒 第2学年
3. 教科等 音楽科
4. 題材名 オペラの楽しみ

5. 題材の指導計画（総時数3時間）

- 第1時 ・総合芸術としてのオペラに関心を持ち、様々な要素を持つことを知り、雰囲気を感じ取らせる。
・「アイダ」のあらすじを知らせる。 . . . 本時
- 第2時 「アイダ」を鑑賞し、あらすじや登場人物の感情の変化と、歌い方やメロディ、曲想の変化など音楽表現との関わりを感じ取らせる。
- 第3時 総合芸術としての表現の豊かさを味わって「アイダ」を鑑賞させる。

6. 本時の学習

(1) 題 目 オペラや「アイダ」について知り、あらすじを理解して鑑賞しよう。

(2) ねらい

- ・オペラや、その壮大で幅広い表現方法に興味・関心をもって視聴する。

【音楽への関心・意欲・態度】

- ・「アイダ」のあらすじを知り、登場人物の気持ちが声や音楽でどのように表現されているかを感じ取る。

【音楽的な感受や表現の工夫】

(3) I T教材を使う意図

視聴するレーザーディスクには、登場人物のイタリア語に合わせた日本語訳がスーパーで流れ、生徒達はそれによって台詞の内容をある程度理解することはできる。また、使用教科書には「アイダ」のあらすじが説明されており、それを読んだり教師が説明をすれば、物語の内容を理解することはできる。

しかし、単に物語の内容を知るだけでなく、あらすじや登場人物の感情がどのように声や音楽によって表現されているのかを生徒に感じ取らせることが本題材の目標の一つである。そのために、物語全体のあらすじや、アイダ・ラダメス・アムネリスの3人の気持ちをわかりやすく Power Point によって示し、鑑賞場面ごとに聴き取らせたい内容を画面に提示することにした。それにより、物語の内容と音楽との関わり、感情の動きと声や音楽との関わりに生徒達が少しでも興味を持って鑑賞することができれば題材のねらいに迫るための一助となると考える。


(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2000

(5) 展 開

欄	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
8分 導入	1 オペラが総合芸術と言われていることを知る。	○アイダ「2幕2場」を視聴する。 ○気づいたことをワークシートに記入したり、話し合ったりしてオペラには、歌やオーケストラ、演劇、舞台装置等様々な要素があることに気づく。	・昨年度学習した「魔王」との違いを考えさせる。 ・登場人物の多さや大がかりな舞台装置以外の要素に気づきがない時は、前奏曲の場面やバレエの場面等を視聴させる。 ・机間指導をし、気づきの少ない生徒に助言する。	
40分 展開	2 アイダのあらすじや登場人物の人間関係を理解する。 3 物語の場面や登場人物の感情の動きと音楽表現との関わりに気を付けて聴く。	○Power Point による説明を聞く。 ○登場人物の声域を知る。 ○鑑賞のポイントを理解する。 ○第1幕1場を鑑賞する。 ・「清きアイダ」 ・「緊迫の三重唱」 ・「勝って帰れ」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・総合芸術と言われるオペラの要素を理解する。 ① </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・「アイダ」のあらすじや登場人物の人間関係を理解する。 ② </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・鑑賞のポイントを知る。 ③ </div> ・1度目は視聴のみ、2度目はワークシートに記入しながら視聴するようにさせる。	総合芸術としてのオペラや「アイダ」の表現が他の芸術とどのように結びついているかに関心を持っている。【音楽への関心・意欲・態度】 (発言・観察) 音楽の様々な構成要素(声やその組み合わせ、旋律の特徴など)の働きを知覚し、曲想を感じ取っている。 【音楽的な感受と表現の工夫】 (ワークシート)
2分 まとめ	4 次時の学習について知る。	○第2幕を鑑賞することを知る。	本時をふりかえり、次時への興味を持たせるようなまとめをする。	

: IT教材活用場面

(6) I T教材の説明

 **オペラの楽しみ**


☆歌
(独唱・重唱・合唱)
☆オーケストラ
☆文学
☆演劇
☆美術
☆パレエ

★音楽、特に歌を
中心にストーリーを
進める舞台作品

総合芸術

① について

オペラの持つ様々な要素を確認する。
また、総合芸術と呼ばれている理由を確認する。

 **アイーダのストーリー**

**このオペラはどんな
あらすじなのだろう。**


②について (1)

オペラをより楽しんで鑑賞するために、
「アイーダ」のあらすじを理解させる。



②について (2)

敵国関係にあるエジプトとエチオピアの
位置関係を確認する。
(教育用画像素材集 I P A)

 **主な登場人物**

ラダメス…エジプトの兵士

アムネリスの片思い

アムネリス…エジプト王女

②について (2)

主な登場人物 3 人を紹介し、それぞれが
持つ思いや、3 人の人間関係をわかりやす
く説明する。

第 2 幕

- * 戦いはエジプトの勝利。
- * **ラダメス**が凱旋。(第2幕2場)
- * エチオピアの捕虜の中にアイダの父が隠れていた。(エチオピア王**アモナスロ**)
- * **アモナスロ**は**アイーダ**に気づかないふりをするよう告げる。

②について (3)

第2幕についての説明。ラダメスが凱旋する(2幕2場)の有名なメロディをトランペットが演奏している場面をハイパーリンクにより紹介することができる。

(教育用画像素材集 I P A)

第 3 幕

反逆者!!!

アイーダは逃げたが、ラダメスは地下牢へ!

②について (4)

第3幕についての説明。思わず軍の秘密を漏らしてしまったラダメスに対するアムネリスの言葉を強調して示す。

1幕を鑑賞しよう ポイント2

- * 声質の特徴を感じ取ろう。

ソプラノ	(アイーダ) 女声
メゾソプラノ	(アムネリス)
テノール	(ラダメス) 男声
バス	(エジプト国王)

③について (1)

鑑賞する前に、登場人物の声域を知る。生徒の発言を促しながら、ソプラノ・アルト・テノール・バスの4声と登場人物それぞれの声域を確認する。

鑑賞場面2(1幕第1場)

三重唱

アイーダ 「自分の身分とラダメスとのことは知られてはいけない」

ラダメス 「アイーダとのことは知られてはいけない」

アムネリス 「この二人は何か怪しい・・・」

旋律や歌い方で三人の気持ちはどのように表現されているのだろう。

③について (2)

鑑賞場面の3人の気持ちを理解させる。登場人物の感情が旋律や歌い方の変化でどのように表現されているかを聴き取らせる。